

令和元年7月10日

各位

五条広域事務組合

(仮称) 五条広域事務組合斎場建設工事に関する質問(設計図書)の回答について

みだしのことについては、以下のとおりです。

| No. | 該当項目 | 質問事項 | 回答 |
|-----|-------------------|--|---|
| 1 | 設計図面 A-13 S-30 | 現況配置図の建築床付基面▽3.65とは、別途工事(造成工事)にて計画建物範囲が標高3.65で平坦に整地されていると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 別途工事(造成工事)でTP+5.4程度の高さにて整地することとします。建設工事はその高さから施工するものとしてください。 |
| 2 | 設計図面 A-01 | 埋戻し及び盛土の種別が、B種(根切り土の良質土)適用場所:本体下部となっておりますが、不足分の盛土はC種(他現場の建設発生土中の良質土)で十分な締固めを行うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | No.1の回答により不要です。 |
| 3 | 設計図面 S-02 | 嵩上げ用コンクリートの強度は、 $F_c=18\text{N/mm}^2$ スランプ 15cmと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。ひび割れ防止筋 $\Phi 6-\text{@}100$ クロスが必要です。(設計図面A-15図を参照) |
| 4 | 設計図面 S-26 S-27 | 壁リストの開口捕強筋注記に「*斜め筋の有無についてはS-27の開口メッシュ補強要領を参照すること」と記載がありますが、S-27の架構配筋図では前述の内容が確認できません。今回の計画建物には適用外と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |

| | | | |
|----|---------------------------|--|-------------|
| 5 | 設計図面 S-38 | 玄関キャノピー・歩道屋根 改良伏図において、改良コラム ○: φ1000 の本数が伏図と改良リスト本数で相違しております。 伏図の玄関キャノピー:40 本+歩道屋根:22 本=62 本を 正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 6 | 設計図面 A-8 A-19 A-35 | 屋上3の横引きドレイン箇所数が平面図ではY5.7.9通りの3 箇所ですが、2階平面詳細図(2)ではY5~9の5箇所 で相違しています。3箇所を正と考えて宜しい でしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 7 | 設計図面 A-35 | 室外機置場のガラス手摺基礎 400*400 は H450 のアゴ付きと 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 8 | 設計図面 A-18 | 室外機置場のガラス手摺のガラスが合わせガラスですが、仕 様・厚みが不明です。強化 FL・t=5+5 と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 9 | 設計図面 A-21 A-35 | 屋上3の外壁に化粧ルーバーが北立面図に4箇所 ありますが、2階平面詳細図(2)では3箇所 で相違しています。SD前には無いので3箇所 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。 | 4箇所としてください。 |
| 10 | 設計図面 A-19 A-21 A-23 | 屋根1~3に矩計図(1)で軒樋がありますが、2階平面図・南立 面図では落し口と縦樋の記載がありません。縦樋を3箇所 ずつ見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 11 | 設計図面 A-23 A-57 | 屋根1~3のトップライト~外壁間の水切は屋根同材と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 12 | 設計図面 A-16 A-18 | 玄関前庇の縦樋がアルミ製 75 角と外部仕上表に記載が ありますが、上部より降りてくる縦樋はφ114で 径が縮小します。100角と読み替えて宜しい でしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |

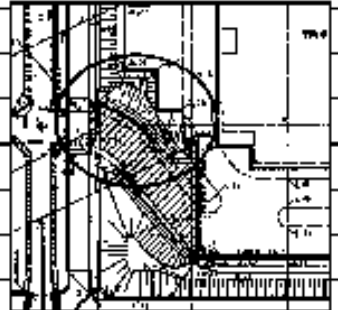
| | | | |
|----|--------------------------------------|--|---|
| 13 | 設計図面 A-27 | 玄関キャノピー丸柱足元根巻きコンクリートは、天端コンクリート金縷、立上りコンクリート打放補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 14 | 設計図面 A-33 | 待合室前ウッドデッキ部の排水柵は、防水モルタル仕上+SUSグレーチング蓋と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 15 | 設計図面 A-26 A-54/D-11-52 | 待合室テラスのウッドデッキ厚みが、矩計図(4)では t=25 ですが、部分詳細図(4)では t=30 で相違しています。T=30 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 16 | 設計図面 A-18 A-24 | Y6~7 間搬入口床はコンクリート金縷仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 17 | 設計図面 A-29 A-55/D-20-9 | 職員玄関の化粧ルーバー下地は、外壁化粧ルーバー下地に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 18 | 設計図面 A-54/D-14-15 | 出入口排水溝の排水目皿はφ50 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 19 | 設計図面 A-16 A-21 A-15 A-15 | 外壁 1(GW1)のタイル仕様が下記のように相違します。改めて、外壁 1(GW1)のタイル寸法、参考品番、工法を御指示願います。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部仕上表：磁器質タイル F 600×300 弾性接着貼 ・立面図凡例：磁器質ボーダータイル A ・仕上特記凡例表 材料記号：W(4)磁器質タイル F 400×400×t7 (株)LIXIL ID-400/BMA-2 同等品 ・仕上特記凡例表 外部仕上参考品番：(株)LIXIL HAL-50B/ALB-3 はるかべ工法同等品 磁器質タイル F | 外壁 1(GW1)のタイルは以下を正としてください。 (株)LIXIL HAL-50B/ALB-3 はるかべ工法同等品 磁器質タイル F |

| | | | |
|----|---------------------------|--|--|
| 20 | 設計図面 A-16 A-26 A-21 | 外部仕上表の光庭に、外壁 6 (GW6) 磁器質タイル 200×30×t15 と記載ありますが、矩計図(4)では光庭前の目隠し壁は両面共に GW2 とあり、光庭に面した建物外壁も GW3 である事から、外壁 6(GW6)の該当施工場所が見当たりません。 光庭前の目隠し壁のみを、両面共に外壁 6 (GW6) 磁器質タイル 200×30× t15 に読み替えると考えて宜しいですか。そうでない場合、外壁 6(GW6)の該当施工場所・範囲を、具体的に御指示願います。 | 図面 A-26 図 矩計図 (4) 光庭前の目隠し壁は両面共に GW2 とします。GW6 の施工場所は設計図面 A-24 図 矩計図 -C 光庭外壁仕上げの GW2 を GW6 に読み替えてください。 |
| 21 | 設計図面 A-55 | 部分詳細図(5)D-20-10で、外壁4(GW4)のアルミリブパネルと同一面になる外壁タイル下は納まりの関係からコンクリート増打ち t35 となっていますが、外壁 4(GW4)と関連しない一般の外壁タイル下は、コンクリート増打ち t20 と考えて宜しいですか。 | 一般の外壁タイル下は、コンクリート増打ち t20 は不要です。 |
| 22 | 設計図面 A-62 A-63 | 屋外に設置されるサイン「S2、S3、S15」について、それぞれ基礎が必要と思われまます。「S2、S3、S15」サイン用コンクリート基礎の、寸法、配筋、地業の解る詳細資料を御提示願います。 | 設計図面 A-56 図D20-23のとおりです。 |
| 23 | 設計図面 A-30 | 告別収骨室 1～6 の壁下地が、平詳で L6(鉄骨下地+ケイカル板 t12) になっていますが、L6 の凡例は GB-Ft21+21 です。壁下地はケイカル板 t12 が正、GB-Ft21+21 は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 24 | 設計図面 A-23 A-64～68 | 矩計図(1)に「炉据付架台:CT-150×100」と記載ありますが、該当施工位置・範囲及び割付(ピッチ)等が読み取れません。床スラブコンクリート面に対する固定方法と併せ詳細資料を御提示願います。 | 施工位置・範囲及び割付は設計図面 A-29 及び A-31 図、固定方法は設計図面 A-55 図 D-20-11 のとおりです。 |

| | | | |
|----|-------------------|---|------------------------------------|
| 25 | 設計図面 A-45 | AD-2・3 について、建具表で仕上がが不明です。 AD-1 に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 26 | 設計図面 A-45 A-46 | AW-4、SSW-1・2・8 について、チャンバーボックス (ZAM) t=1.6 グライツ吹付がつくと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 27 | 設計図面 A-46 | SD-1 の仕上について、建具表で、他:SUS バイブレーション となっていますが、スチール製の為、SOP 塗装と考えるて宜しい でしょうか。御指示下さい。 | スチールドアの上に SUS を仕上げるもの と考えてください。 |
| 28 | 設計図面 A-46 | SD-1~3・7・8・17 の仕上について、扉片面:タイル貼、扉片 面:SOP 塗装となっていますが、枠の仕上は SOP 塗装と考えるて 宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 29 | 設計図面 A-46 | SD-10 の枠の仕上げについて、SOP 塗装と考えるて宜しいで しょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 30 | 設計図面 A-46 | SD-1・2・6~8・10、SW-1・2 について、建具表で、スチール額縁 の記載がありますが、仕上は、SOP 塗装と考えるて宜しいで しょうか。御指示下さい。 | スチール額縁は不要です。 |
| 31 | 設計図面 A-40 | SD・SW について、建具表で、スチール額縁の記載があり ますが、サイズが不明です。サイズを御指示下さい。 | No.30 の回答のとおりです。 |
| 32 | 設計図面 A-46 | SH-1 について、建具表姿図に硬質塩ビシート貼と記載があり ますが、誤記と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、誤記ではない場合、該当範囲を御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 33 | 設計図面 A-46 | STS-1 のシャッターボックスについて、SOP 塗装が必要と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |

| | | | |
|----|-------------------|---|--------------|
| 34 | 設計図面 A-46 | SH-1、STS-1 について、シャッター枠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、枠が付く場合、枠のサイズ、材質、仕上を御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 35 | 設計図面 A-46 | SW-2 について、建具記号では、スチール製となっていますが、建具表材質欄では SUS 製となっています。建具表材質欄を正と考えて、SW-2 はステンレス製建具と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 36 | 設計図面 A-47 | LSD-1・10・11 について、建具表で、スチール額縁の記載がありますが、仕上が不明です。SOP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、額縁のサイズも併せて御指示下さい。 | スチール額縁は不要です。 |
| 37 | 設計図面 S-01 G-01 | 外構工事の現場打ちコンクリートの強度について、詳細図で指示がない項目に限り、Fc21 S15 で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおりです。 |
| 38 | 設計図面 G-29 | 植栽リストの数量は指示数量と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 設計図面のとおりです。 |
| 39 | 設計図面 A-01 | 特記仕様書 1 の施工条件で、工事用車両の駐車場所・資機材置場・建設発生土仮置場が全て敷地内と記載されていますが、現在施工中の別途造成工事で使用されております現場仮設事務所の設置場所及び隣地の残土置場は、建設本工事においても借地させて頂けるものと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 設計図面のとおりです。 |

| | | | |
|----|----------------------|--|---|
| 40 | | 現在造成工事が進行中ですが、現造成地外の北側敷地積置土は全て造成に使う予定でしょうか。余剰土があれば本工事埋め戻し等に利用したいのですが、余る見込みがありましたら余剰数量をご指示ください。 | 現時点では不明のため、本工事費には見込まないでください。 |
| 41 | 設計図面 A-10 A-23 | 建築計画概要書、6. 工事スケジュールでは2020年8月より火葬炉設備工事(別途工事)が始まるよう記載されていますが、該当範囲内装工事(天井・壁GW)が10月程度までかかる見込みのため機械本体の設置は難しいかと思われます。別途工事とのスケジュール調整は可能でしょうか。 | スケジュール調整は可能です。詳細は現場打合せによります。 |
| 42 | 設計図面 G-31 | 図中の各断面図に客土厚700mmと記載がありますが、参考設計内訳書・外構工事・植栽工事の「(土壌改良材)客土85m ³ ～肥料251kg」がそれに該当するとしてよろしいでしょうか。 | 客土厚700mm部分は造成工事(別途工事)にて施工します。 |
| 43 | 参考設計内訳書 | 参考設計内訳書・植栽工事において、光庭1・2・3の明細がありますが、各仕上の数量を確認できません。各々の平面詳細・断面詳細図をご提示ください。 | 設計図面G-21図によるものとしてください。なお、各床石厚はt25としてください。 |
| 44 | 参考設計内訳書 設計図面 G-29 | 参考設計内訳書・植栽工事において、G-29図全体植栽リストの砂利敷(t60白)の32.4m ² の数量中に建て屋内光庭の22.2m ² (7.4m ² ×3箇所)は入っていますか。 | 設計図面G-29図 四季の庭 植栽リストに含まれています。 |
| 45 | 設計図面 A-7 | 建築工事特記仕様書・植栽工事及び屋上緑化工事特記内において、「⑦幹巻き用材料※幹巻き用テープ」と指示ありますが高木は全て施す仕様でよろしいでしょうか。 | 全て不要です。 |
| 46 | 設計図面 A-7 G-29 | 建築工事特記仕様書・植栽工事・⑧芝にて、「平地※目地張り」と指示ありますがG-29図では「100%張り」と記載ありますどちらを正とすればよろしいでしょうか。 | 100%張りを正としてください。 |

| | | | |
|----|-------------------|--|---|
| 47 | 設計図面 A-13 | <p>北側乗入部分の擁壁(下部○印部)について、建物北側を施工ヤードとして考えておりますが、造成工事にて擁壁を完了されてしまいますと、建物北側のヤードへのアプローチが困難となります。この部分の擁壁を本工事期間中(造成工事契約工期期間外)とすることは可能でしょうか。</p>  | <p>不可能です。 但し、建築床付基面はNo.1 の回答のとおりです。</p> |
| 48 | 設計図面 A-13 | <p>上記より、この擁壁の施工時期について、造成工事監督員と協議して頂けますでしょうか。</p> | <p>No.47 の回答によりできません。</p> |
| 49 | 設計図面 A-13 | <p>上記質疑より、擁壁の工事を本工事期間中に施工出来るとした場合、この工事の費用と施工する業者はどの様に考えたら宜しいでしょうか。</p> | <p>No.47 の回答によりできません。</p> |
| 50 | 設計図面 A-13 S-09 | <p>造成工事での床付が、TP+3.65(設計 GL-1.85m)ですが、本設杭の天端は設計 GL-1.6m ですので、杭工事完了後は杭頭が250mm 程度地盤から突出している状態となります。この状態ですと、その後の土工事・杭工事の重機作業の作業性が悪くなることが考えられるため、床付の地盤レベルは杭天端よりもやや上にあることが望まれます。 造成工事での床付レベルを TP+4.10(設計 GL-1.4m)程度にての引渡しは可能でしょうか。</p> | <p>No.1 の回答のとおりです。</p> |

| | | | |
|----|-----------------------------|--|----------------------------------|
| 51 | 設計図面 A-13 | 上記より、床付地盤レベルについても、造成工事監督員と協議して頂けますでしょうか。 | No.50 の質問事項と回答のとおりです。 |
| 52 | | 上記質疑より、床付レベルを TP+4.10 での引渡しが可能の場合、TP+3.65~4.10 の 450mm 分の掘削及び処分の費用と施工する業者はどの様に考えたら宜しいでしょうか。 | No.1 の回答に基づき、本工事にて施工費等を見込んでください。 |
| 53 | 設計図面 S-02 | 7章 鉄骨工事より、「鋼材は原則として高炉材を使用する」とあります。現状、高炉材は市用品には無いためロール品となり、また高炉材のロール品はワンサイズ当り 25~30t 以上でないと、高炉メーカーでは製造対応して頂けないとのことです。本案件は RC 造建物の付帯部分の鉄骨のため、鋼材それぞれの数量が微量となり、メーカーでは製造対応して頂けないと思われます。電炉材への変更は可能でしょうか。 | 事前に監理者と協議の上、承諾を得ることで変更は可能です。 |
| 54 | 設計図面 A-12 A-13 | 本工事範囲外(造成工事範囲)である B 敷地について、工事期間中に現場事務所等作業ヤードとして、使用させて頂くことは可能でしょうか。 | 現場打合せによります。 |
| 55 | 設計図面 A-12 A-13 | 上記質疑より、使用させて頂くことが可能な場合、有償でしょうかそれとも無償でしょうか。御指示下さい。 | No.54 の回答のとおりです。 |
| 56 | 参考設計内訳書 No.101 設計図面 A-56 | レリーフ「花・水・木」和紙 版画仕上についてですが、本案件のこと及び図面に明記されている内容のことは、『野田版画工房』様は御理解されているものと考えて宜しいでしょうか。 | 設計上は株式会社アートココ（兵庫県西宮市）監修によるものです。 |
| 57 | 参考設計内訳書 No.101 設計図面 A-56 | 上記質疑より、『野田版画工房』様と事前に打合わせをされている場合、製作費用の問い合わせをさせて頂きたいので、担当者及び連絡先を教えてくださいませんか。 | No.56 の回答のとおりです。 |

| | | | |
|----|--------------------------------|--|----------------------------------|
| 58 | 参考設計内訳書 No.101 設計図面 A-56 | フュージングガラスアート ステンドグラスについてですが、本案件の内容及び図面に明記されている内容のことは、『ボザール・デザインビューロ代表 石戸谷準』様は御理解されているものと考えて宜しいでしょうか。 | No.56 の回答のとおりです。 |
| 59 | 参考設計内訳書 No.101 設計図面 A-56 | 上記質疑より、『ボザール・デザインビューロ』様と事前に打ち合わせをされている場合、製作費用の問い合わせをさせて頂きたいので、担当者及び連絡先を教えてくださいませんか。 | No.56 の回答のとおりです。 |
| 60 | 参考設計内訳書 No.35 設計図面 A-56 | 水盤底版の仕上について、参考設計内訳書No.35 ではセラミックタイル t12、A-56 図では御影石 t30 と相違しております。A-56 図を正と考えて宜しいでしょうか。 | 参考設計内訳書No.35 のセラミックタイルを正としてください。 |
| 61 | 参考設計内訳書 No.35 設計図面 A-56 | 水盤縁石の仕上について、参考設計内訳書No.35 ではセラミックタイル 150×30、A-56 図では御影石 150×80 と相違しております。A-66 図を正と考えて宜しいでしょうか。 | 参考設計内訳書No.35 のセラミックタイルを正としてください。 |
| 62 | 参考設計内訳書 No.36 設計図面 A-56 | 水盤縁板(セラミックタイル)の厚みについて、参考設計内訳書No.36 では t30、A-56 図では t12 と相違しております。A-56 図を正とし、t12 と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 63 | 参考設計内訳書 No.37 設計図面 A-18 | 床セラミックタイルの厚みについて、参考設計内訳書No.37 では t25、A-18 図では t12 と相違しております。図面を正とし参考設計内訳書の t25 を t12 と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |

| | | | |
|----|---|---|--|
| 64 | 参考設計内訳書 No.36 設計図面 A-24 G-21 | 光庭沓摺について、A-24 図及び参考設計内訳書ではセラミック タイル、G-21 図では御影石と相違しております。 A-24 図及び参考設計内訳書を正とし、セラミックタイルと考 えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 65 | 参考設計内訳書 No.36 設計図面 A-24 | 光庭沓摺(セラミックタイル)の厚みについて、参考設計内訳 書No.36 では t25、A-24 図では t12 と相違しております。 A-24 図を正とし、t12 と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 66 | 参考設計内訳書 No.98 設計図面 A-32 A-33 A-55 | 待合室前ガラリ(横ルーバー)が内訳書に見当たりません。 見込んでも宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 (設計図面 A-55 図 D-20-8 を参照し てください。) |
| 67 | 参考設計内訳書 No.98 設計図面 A-32 A-33 A-55 | 待合室前ガラリのチャンバーボックスですが、参考設計内訳 書では 6 ヶ所、A-32・33 図では計 8 ヶ所と相違しております。 図面を正とし参考設計内訳書の 6 ヶ所を 8 ヶ所と読み替えて 宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 68 | 参考設計内訳書 No.95 設計図面 A-16 | 設備囲い(屋外機置場)のガラス手摺の合わせガラスは FL4+FL4 程度と考えて宜しいでしょうか。 | No.8 の回答のとおりです。 |
| 69 | 設計図面 A-16 | 設備囲い(屋外機置場)のガラス手摺の枠ですが、姿図が無い ため以下の様に判断して宜しいでしょうか。 縦枠:@1000 程度 横枠:中間に 1 本 | お見込みのとおりです。但し、横枠は 無しとしてください。 |
| 70 | | AED ボックスは本工事ですが、AED 本体については別途と考 えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |

| | | | |
|----|---|---|----------------------------------|
| 71 | 参考設計内訳書 No.37 設計図面 A-54 | 小便器・洋便器のライニング面台の仕上について、参考設計内訳書ではセラミックタイル、A-54 図では大理石と相違しております。 A-54 図を正とし、大理石と読み替えて宜しいでしょうか。 | 参考設計内訳書No.37 のセラミックタイルを正としてください。 |
| 72 | 参考設計内訳書 No.94 設計図面 A-06 A-16 A-23 A-24 | 現場発泡ウレタンの厚みについて、A-06 図では t30、参考設計内訳書 P94 及び A-16 図等では t25 と相違しております。 t25 を正と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 73 | 参考設計内訳書 No.34 設計図面 A-15 A-16 A-21 | 外部仕上 GW1 について、外部仕上表及び参考設計内訳書では 600×300 と明記されておりますが、ボーダータイルのため、300×60 と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 74 | 設計図面 A-53 | A-53 図にオーバーフロー管の詳細図が明記されておりますが、設置場所が不明です。屋根に何ヶ所見込んだら宜しいでしょうか。 | 6箇所としてください。 |
| 75 | 参考設計内訳書 No.63 設計図面 A-28～A-33 | 消火器ボックスについて、平面詳細図では 3ヶ所ですが、また参考設計内訳書では 2ヶ所です。 平面詳細図を正とし、3ヶ所と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |

| | | | |
|----|--|---|------------------------------------|
| 76 | 参考設計内訳書 No.97 設計図面 A-30 A-54 | ホール格子壁について、平面詳細図では W1800 程度が 2 ヶ所、参考設計内訳書では、W1875・1665・1105 がそれぞれ 1 ヶ所づつと相違しております。 平面詳細図を正とし W1800 程度を 2 ヶ所としても宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 77 | 参考設計内訳書 No.38 設計図面 A-40 | 木製のブラインドボックスは待合室と考えて宜しいでしょうか。 | 設計図面 A-40 図を正とし、木製ブラインドボックスはありません。 |
| 78 | 参考設計内訳書 No.119 設計図面 G-16 | 車輪止めの普通車用について、参考設計内訳書では 90 ヶ所ですが、図面では 50 台で 100 ヶ所です。 100 ヶ所と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 79 | 設計図面 G-22 G-23 | 門扉(北)(南)の袖壁の仕上ですが、石貼以外の部分は吹付タイル程度と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 80 | 参考設計内訳書 No.113 設計図面 G-28 G-29 | 四季の庭植栽の景石について、図面では「平均 3t 内外 計 8 個」とあり、参考設計内訳書では 7.741t とあります。1 個当りの平均重量は、図面では 3t、参考設計内訳書では $7.74t \div 8$ 個 $\approx 0.97t$ と解釈できます。 3t でしょうか、それとも 0.97t でしょうか。御指示下さい。 | 設計図面を正としてください。 |
| 81 | 参考設計内訳書 No.116 設計図面 G-28 G-29 | 四季の庭植栽の景石について、図面では「平均 3t 内外 計 9 個」とあり、参考設計内訳書では 2.91t とあります。1 個当りの平均重量は、図面では 3t、参考設計内訳書では $2.91t \div 9$ 個 $\approx 0.32t$ と解釈できます。 3t でしょうか、それとも 0.32t でしょうか。御指示下さい。 | 設計図面を正としてください。 |
| 82 | 設計図面 G-28 G-29 | 景石について、「支給材」とありますが、保管場所から現場までの運搬は別途と考えて宜しいでしょうか。 | 運搬は本工事に含まれません。 |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 83 | 設計図面 G-28 G-29 | 上記より、運搬が本工事となる場合は、保管場所または保管場所から現場までの距離を御指示下さい。 | No.82 の回答のとおりです。 |
| 84 | 設計図面 A-27～A-29 A-55 S-39～S-42 | 車寄せ化粧ルーバーの下地鉄骨柱□-150×150×6 について、柱脚を受ける基礎がありませんが、柱脚の基礎及び納めはどの様に考えたら宜しいでしょうか。 | 差替え図面 (S-39, S-42, S-45) のとおりです。 |
| 85 | 参考設計内訳書 設計図面 A-06 | ㊟ユニットおよびその他工事より、5 視覚障害者用タイルに○印が付いておりますが範囲が不明です。また、参考設計内訳書にも項目がありません。無しと考えて宜しいでしょうか。 | G-25 図水路の歩道部に SUS 製点字鋳を見込んでください。仕様：点状 (300 角) 6 箇所、線状 (300 角) 18 箇所、ナカ工業ガイドステップ J タイプノンスリップタイプ (イエロー) 同等品。 |
| 86 | 参考設計内訳書 設計図面 A-06 | ㊟ユニットおよびその他工事より、8 黒板及びホワイトボードのホワイトボードに○印が付いておりますが範囲が不明です。また、参考設計内訳書にも項目がありません。無しと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 87 | 参考設計内訳書 No.194 設計図面 M-18 | 衛生器具表の洗面カウンターの下部はパネル仕様になっておりますが、建築図 A-39 等の展開図はブラケット仕様になっております。 設備図面の衛生器具表 M-18 を正で宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 88 | 参考設計内訳書 No.243 | 屋外給水設備の保温工事での別紙明細の 1-2-2 にあります、グラスウール機械室露出 51A とありますが、65A と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|-------------------------------------|--|--|---------|-----------|-----------|---|--|--|-------------------------------------|
| 89 | 公告 1(5)イ | <p>貴組合における「調査基準価格の算定方式」の公表をお願いします。</p> <p>なぜなら、公共工事の大半の発注者は低入札防止の観点から、上記算定方式を公表しています。それによって低入札を回避する狙いです。</p> <p>例示として愛知県建設工事の場合、最新の上記算定方式は下記の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="577 496 1326 919"> <tr> <td>一般建築工事</td> <td rowspan="4"> $\left. \begin{array}{l} \cdot (\text{直接工事費} \times 90\%) \times 97\% \\ \cdot \text{共通仮設費} \times 90\% \\ \cdot (\text{直接工事費} \times 10\% + \\ \text{現場管理費}) \times 90\% \\ \cdot \text{一般管理費等} \times 55\% \end{array} \right\}$ </td> <td rowspan="4"> $\left. \begin{array}{l} \text{の合計額} \\ \times 1.08 \\ (1.1) \end{array} \right\}$ </td> </tr> <tr> <td>建築設備工事等</td> </tr> <tr> <td>(昇降機設備工事等</td> </tr> <tr> <td>以外の建築系工事)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 調査基準価格及び最低制限価格の上限は予定価格の <u>92%</u>、下限は予定価格の <u>75%</u> です。 </td> </tr> </table> | 一般建築工事 | $\left. \begin{array}{l} \cdot (\text{直接工事費} \times 90\%) \times 97\% \\ \cdot \text{共通仮設費} \times 90\% \\ \cdot (\text{直接工事費} \times 10\% + \\ \text{現場管理費}) \times 90\% \\ \cdot \text{一般管理費等} \times 55\% \end{array} \right\}$ | $\left. \begin{array}{l} \text{の合計額} \\ \times 1.08 \\ (1.1) \end{array} \right\}$ | 建築設備工事等 | (昇降機設備工事等 | 以外の建築系工事) | 調査基準価格及び最低制限価格の上限は予定価格の <u>92%</u> 、下限は予定価格の <u>75%</u> です。 | | | <p>本公告に関する質問の受付期間外であるため回答できません。</p> |
| 一般建築工事 | $\left. \begin{array}{l} \cdot (\text{直接工事費} \times 90\%) \times 97\% \\ \cdot \text{共通仮設費} \times 90\% \\ \cdot (\text{直接工事費} \times 10\% + \\ \text{現場管理費}) \times 90\% \\ \cdot \text{一般管理費等} \times 55\% \end{array} \right\}$ | $\left. \begin{array}{l} \text{の合計額} \\ \times 1.08 \\ (1.1) \end{array} \right\}$ | | | | | | | | | | |
| 建築設備工事等 | | | | | | | | | | | | |
| (昇降機設備工事等 | | | | | | | | | | | | |
| 以外の建築系工事) | | | | | | | | | | | | |
| 調査基準価格及び最低制限価格の上限は予定価格の <u>92%</u> 、下限は予定価格の <u>75%</u> です。 | | | | | | | | | | | | |
| 90 | 公告 1(3) | <p>工期の始期について下記2点ご教示願います。</p> <p>1、契約上の期日 2、実際の着工期日</p> | <p>本公告に関する質問の受付期間外であるため回答できません。</p> | | | | | | | | | |

